

9月3日 U-18 ブロックリーグ大会 vs 東洋大学京北 マネージャーレポート



相手校は速攻が早く、どの位置からのシュートも入る確率が高かったです。また、後半はスリーポイントシュートを積極的に打ち、リバウンドにも飛び込んでくる印象でした。ディフェンスも堅く、リバウンドも強かったです。リバウンドは本校でも課題となっている点なので、良い点は見習っていきたいと思います。

本校は、1on1で攻めることが多かったですが、相手校の3線のカバーディフェンスが早く、決めきれない場面が多くありました。スペースがない状態でも無理やり攻めようとしていたため、簡単にディフェンスに引っかかってしまいターンオーバーも増えてしまいました。まずは、スペースを広く開けることを意識すると良いと思います。また、良いディフェンスをして、速攻でシュートを決めて良い流れが来ている中、次のプレーでイージーシュートを外してしまったという反省もありました。ここで流れを持って来ることができるかどうか試合の勝敗に関わってくる部分だと思うので、イージーシュートを外さないような練習や、ゴール下、ミドル、スリーなど、どのシュートも成功率を上げていく必要があると思います。ディフェンスでは、プレッシャーが足りず相手に多くのスコアを許してしまいました。相手校は、前半から速攻を使って攻めていましたが、本校は速攻の戻りが遅く、トランジションを早くすることをチームで徹底しているのにも関わらず、走り負けてしまうことが何度もありました。リバウンドが弾かれた後のルーズボールにも飛び込めず、リバウンドルーズを取りこぼすことが多かったです。リバウンドも沢山取られてしまい、相手のセカンドチャンスに繋げる機会を与えてしまいました。泥臭いプレーをもっと積極的にやっていけると良いと思います。

ですが、後半からスペースが足りない時は単純な1on1に行かず、ポストに入れてイージーシュートで決め切るといった場面もありました。チーム内での連携が取れていて良いプレーだったと思います。また、ディフェンスは前からハードワークをして、相手がボールをこぼしたらルーズボールに飛び込み、速攻で簡単に決めるというプレーで点を稼げていたのが良かったです。

今回の試合は結果的に負けてしまいましたが、内容的にもあまり良いものとは言えませんでした。1つの試合にどれだけの熱量を加えられるかで試合が変わってくる事もあると思うので、一人一人がしっかりとコートに立つ意識、責任を持って取り組むべきだと思います。

新人戦に向けて気持ちを切り替え、これからの練習に励んでいきます。